

桂歯科通信 2017-11

発行 芝浦桂歯科診療所
TEL 03-5476-4618
E-mail info@shibaurakatsura.jp



日増しに寒さもつゆのり、今年もあと2ヶ月ですね。
日頃からお口のコンディションを整えて免疫力UP！



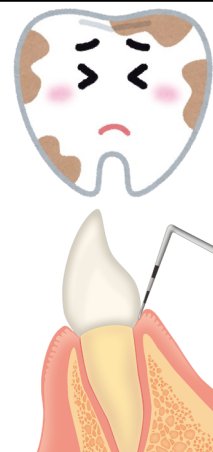
歯石除去と歯周病 ～なんで一回で終わらないの？～

『何で歯石取りは一回で終わらないんですか??』

初診の患者さんから時々このような質問を受けることがあります。
なぜなら「歯石除去を段階的に行うことで、歯周病対策となるからです」

歯石を除去するには「歯周基本検査もしくは精密検査(右図)」という検査を行い、今現在どの程度の歯肉の状況か把握する必要があります。

歯周病であれば、歯石除去を行うことにはなりますが、個人差はありますが、歯石は一回ではとても取り切れません。



【歯石除去の流れ】

①初回は目に見える大きな歯石を除去、それと同時にブラッシングの方法を確認、正しい磨き方についてご説明しています。そして、自宅でこのブラッシング方法を実践していただきます。



②2回目、前回の処置により歯茎が引き締まり、前回見えなかった歯石が見えてきますので、その歯石を除去します。

③その後再評価を行い（歯周基本検査もしくは精密検査）どの程度歯肉の回復がみられたか記録し、今後の処置についてご説明しています。

ここまでは初期の歯周病の方の一例でしたが、中等度以上の歯周病の方で歯周ポケットが深いと、更に深い箇所歯石取りが必要になる場合があります。

患者さんからお話を伺っていると、今まで簡単なお掃除程度しかしたことがなかったと伺うことが多いです。一旦歯周初期治療を行えば、それ以降のメンテナンスがとても楽になります。歯周病の治療は非常に奥深く、簡単なお掃除程度で終わらないことが多いのも事実です。

～芝浦桂歯科診療所では、歯周病治療を大切にしています～

歯周病はお口の中だけに留まらず、全身疾患との関わりが指摘されており、歯周病の処置をきちんと行うことは、カラダの健康にもつながる大切な処置です。

また、差し歯などの被せ物も綺麗な型取りをすることが出来、フィットも抜群です。一回で終わらないのは、それだけ皆さんにとって大切な処置だからです。

ご不明な点はご来院の際にお尋ねくださいね。



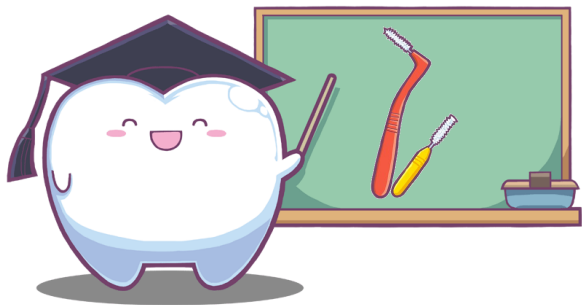
歯間ブラシはとっても大切なんです！

フロスはたまにするけど、歯間ブラシは「ぐにゃ」って曲がっちゃうしハードルが高いんだよなあ・・・なんて声も聞かれます。。

歯と歯の間の汚れはブラッシングするだけでは取りきれません。ここで通常はフロスを使ってお掃除をしますが、歯と歯の間が少し空いてきた方には積極的に歯間ブラシを使う事が必要です。治療においてになった際に歯間ブラシをオススメした方は特に必要です。

「いつ使えばいい？」とよく聞かれますが、1日にそう何回も使う事なんて出来ないと思いますので、芝浦桂歯科診療所では夜寝る前に1回丁寧にお使いくださいと説明しています。寝る前に、ブラッシング+歯間ブラシの組み合わせの積み重ねで5年先、10年先大きな差が出てきます。毎日の積み重ねがとっても大切なんです。

うまく使えないんだよなあ・・・そんな方はお気軽に声をかけてください。何回でもご指導いたします！



ただいまの香りは・・・

芝浦桂歯科診療所では、その季節にあわせ診療室内随所にエッセンシャルオイルをディフューズし治療の緊張が少しでも和らぐよう皆さんにお届けしています。

ただいまお届けしている香りは、暖かみのあるオレンジをベースにイランイラン、ラベンダーを用いて華やかにパチュリで香りに奥行きを出しています。

オレンジからはそれぞれ3種類の異なった精油がとれます。果皮からは心地よい香りのオレンジ油、枝に咲く花からはネロリ油、またその葉からはプチグレン油がとれます。

オレンジの木は地中海地方、イスラエル、南米、北米でたくさんみられ、特にアメリカのカリフォルニアではオレンジ栽培が大切な産業となっています。



メンテナンスでの気づき

治療が終わった後も定期的にメンテナンスに来院するようにお話しをしています。一通りの治療が終わった方のメンテナンスはそれほど大変ではなく一回で終わることが多いです。また、お手入れのコツなどその都度ご説明しています。

メンテナンスを定期的に通われている方からはこんなお話しをいただきます。

自分の健康に対しての
意識が変わった

いつもさっぱりして
気持ちいい

もっと早くから実践して
おけば良かった

今まで体験したことない
スッキリ感

自分でのケアの仕方が
段々分かるようになってきた

日々明るく楽しく輝きと共に健康な毎日を送れますことが私たちの願いです。